

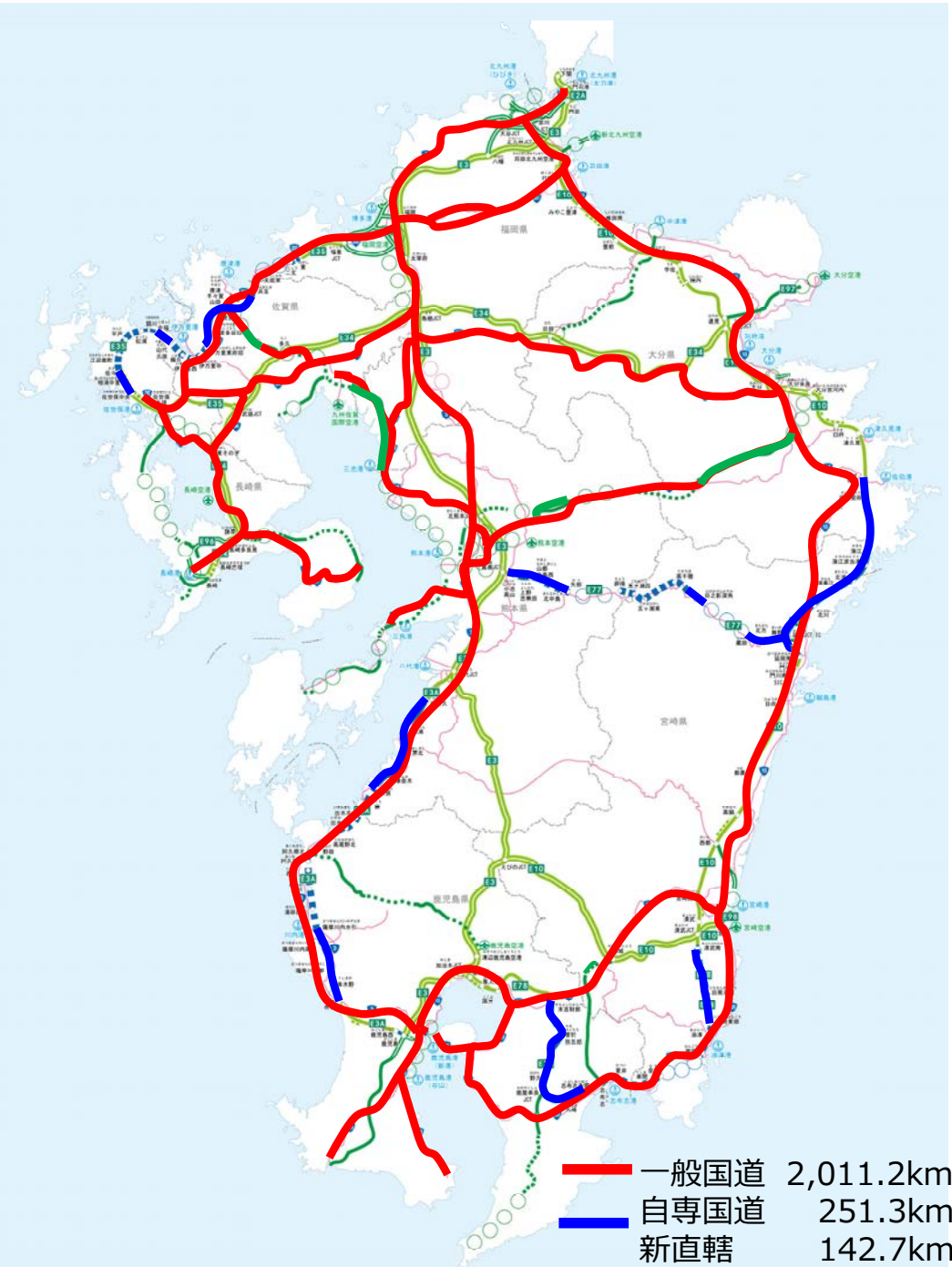
《令和6年度 現場技術業務等実務者研修》

～最近の道路管理に関する話題について～

令和6年12月

九州地方整備局 道路部 道路管理課
課長補佐 岩本 誠治

1. 九州地方整備局の道路管理
2. 近年の道路災害
3. 最近の道路管理に関する話題等



路線	延長(km)	路線 (自専)	延長(km)
2号	000.3		
3号	401.2	3号	77.0
10号	461.4	10号	31.6
34号	135.6		
35号	035.3		
57号	175.8	57号	40.7
58号	000.7		
201号	090.8		
202号	131.4		
203号	33.7	203号	6.9
205号	023.3		
208号	67.0	208号	29.2
209号	027.0		
210号	142.5		
		218号	18.0
220号	187.3		
224号	013.5		
225号	052.2		
226号	32.1		
		497号	48.0
	0	新直轄	142.7
合計		2,405.2 km	

令和6年4月1日現在

※施設数については概数

◆管理延長

約2,405 km

うち**自専道** 約 394 km

- ◆橋梁 約4,500橋
- ◆トンネル 約160箇所
- ◆道路照明施設 約58,000基
- ◆道路情報板 約890基
- ◆事前通行規制区間 11箇所
- ◆特殊通行規制区間 5箇所

<組織構成>

※改築事務所及び改築出張所を含む

- ◆事務所数 14事務所
- ◆出張所数 31出張所
- ◆九州技術事務所
- ◆九州道路メンテナンスセンター
- ◆高規格道路管理センター



 : 南海トラフ地震防災推進地域

九州地方整備局の道路管理

維持：道路の異常等を日常的に確認し、交通に支障を及ぼさないよう対応
補修等：道路施設や構造物の健全性を確認し、機能を回復及び強化

維持



補修等



令和6年度
道路維持管理計画

令和6年11月
九州地方整備局

(担当窓口：道路部道路管理課)

I 基本方針

1. 道路維持管理の現状
2. 今後の道路維持管理の課題
3. 令和6年度以降の道路維持管理
4. 九州地方整備局管内の道路施設

II 令和6年度の実施方針

1. 道路維持管理の目的
2. 適用の範囲
3. 道路巡回
4. 道路清掃
5. 除草
6. 剪定
7. 除雪
8. 施設点検
9. 照明施設の維持
10. 構造物点検
11. 橋梁補修・耐震補強
12. トンネル補修
13. 舗装補修
14. 防災対策
15. 直轄高速道路の維持管理
16. ICT・AI等の新技術活用
17. その他（情報ツールの紹介）

▼基本方針

九州地方の地域条件（気候、地形など）を踏まえながら、安全・安心な道路環境の確保を最優先に実施するとともに、地域からの意見等の把握や維持管理に関するデータの収集・分析を行い、更には、ICT・AI等の新技術を活用することで、より効率的な維持管理を目指す。

- 計画的な維持管理により高齡化する道路構造物の長寿命化及び 法面等の防災対策
- 地域状況に応じた維持管理計画の設定
- 執行管理体制のあり方
→PDCAサイクルで効率の検証、計画の見直し等の業務改善
- 専門委員会等の活用
→道路管理技術向上検討会等を活用するとともに、各県道路メンテナンス会議等によりPDCAサイクルの支援

◇道路巡回

平均交通量による頻度設定

50,000台/日以上 : 1日に1回

5,000~50,000台/日未満 : 2日に1回

5,000台/日未満 : 3日に1回

◇道路清掃

塵埃量の実績に応じ頻度を設定

目安量 : 1回/年 (DID内は6回/年)

◇除草

箇所を限定抽出し必要最小限の範囲で行う

◇剪定

高木、中低木 : 3年に1回程度

※ただし、樹種による生長速度の違いや樹木の配置等を踏まえ、適切な頻度を設定する

寄植 : 1年に1回程度

道に関するご意見・提案・相談をお寄せ下さい！

道の相談室

みんなの声を
聞かせてネ！



受付時間
月～金 9:30～17:00
(土日祝日および
年末年始は除く)

相談対象は沖縄を除く九州全域です。

●道路全般に関わるご意見・ご提案・ご相談についての窓口

TEL: 092-672-5614
FAX: 092-476-3514

道路の異状を発見したら...

緊急通報 道路緊急ダイヤル **24時間受付**

＃9910へ



- ※高速道路は、異状箇所特定のため、道路名、進行方向、キロポスト、周辺の施設名等をご確認下さい。
- ※故障車は、高速道路のみ対象となります。
- ※事故情報は、警察(110番)へ連絡して下さい。
- ※道路交通情報は、日本道路交通情報センター(TEL.050-3369-6666)へお問い合わせ下さい。
- ※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。安全な場所に停車しておかけ下さい。



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和6年3月22日
道路局企画課

日本全国の道路異状の通報がLINE アプリから可能となります

～全国の道路を対象にLINEによる道路緊急ダイヤル(#9910)の運用を開始します～

道路利用者が道路の異状等を発見した場合に、直接道路管理者に通報することができる道路緊急ダイヤル(#9910)について、令和6年3月29日から、全国の道路を対象にLINE アプリによる通報を開始します。

道路緊急ダイヤル(#9910)では、道路の穴ぼこ、路肩の崩壊などの道路損傷、落下物や路面の汚れなどの道路異状を24時間受け付けています。
令和5年11月より関東甲信地方において、LINEによる道路緊急ダイヤル(#9910)の運用をしていましたが、この度、令和6年3月29日から、全国の道路を対象にした運用を開始します。
聴覚や発話に障がいがあり、音声による通報が困難な方であっても、LINEによる通報が可能となります。通報の流れは、別紙を参照してください。

1. 開始日時

令和6年3月29日(金) 正午

2. 使用方法

スマートフォンアプリケーション「LINE」に「国土交通省道路緊急ダイヤル(#9910)」の友だち追加をしてご利用ください。
(友だち追加は右記の二次元コード読み取りからも可能です。)



3. 対象エリア

全国の道路(高速道路、国道、都道府県道、市町村道など)
※道路以外の通報や、私道など私有地の通報は対象外です。

4. その他

- ・電話による道路緊急ダイヤル(#9910)も引き続きご利用できます。
- ・アプリの利用は無料です。ただし、通信方法によっては、別途通信料がかかります。

<問い合わせ先>
道路局 企画課 評価室 課長補佐 宮本 (内線 37682)
係長 轟 (内線 37673)
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8593



別紙 1

友だち追加は
二次元コードから



道路の異状を発見したら LINEで通報 #9910

全国の道路で3月29日から開始!

路面の汚れ



落下物



落石・土砂流入等



**ガードレール・
標識等の損傷**



**路面の穴ぼこ・
段差**



動物の死骸



■簡単5ステップで通報完了(LINEトークから道路異状の状態・写真・位置を通報)

①
異状の種類を
選ぶ

②
できごとを
選ぶ

③
写真を送る

④
道路の種類を
選ぶ

⑤
位置情報を
送る

- 事故防止のため、運転中の携帯電話の操作はお止めください。
- 引き続き電話による通報も受け付けています。全国共通#9910(24時間受付・無料)
- 都道府県等が管理する道路について、夜間・土日・祝日は早急に対応できない場合があります。
- 道路以外の通報や、私道など私有地の通報は対象外です。
- 事故情報は、警察(110番)へ連絡してください。

国土交通省 R6.3

10

- ・道路利用者からの通報、相談等に対し、国・県等が連携した迅速な対応と情報共有化
- ・道路利用者からの道路異状の通報により、道路管理体制が強化（道路巡回の補完）
- ・道路利用者へのサービスレベルの向上

- 「道の相談室」「道路緊急ダイヤル」設置目的
 - ・道路の種類や道路管理者の枠を越え、「道路行政と国民との接点」となることを目的に、**国民の声をワンストップで聞き速やかな対応を行う**とともに、**道路行政施策に反映**させていくことを目指している。
- 対応方針
 - ・原則一週間以内に、対応完了を目指す。（各道路管理者）
 - ・直轄事務所においては、原則に加え、3日以内に相談相手へ連絡を行うこととしている。

<令和6年度 技術副所長会議 >

1. 設置・・・平成25年6月1日(R6.6で開所12年目に入る)
2. 目的・・・高規格道路等の道路ネットワークの機能確保等
3. 任務・・・①「高規格道路」及び「一般国道」の管理に関する情報の「収集」「処理」及び「提供」、「通行規制に係る警察協議」、「他の道路管理者との連絡調整」等
②九州7県内の「道路異状の通報」「道路相談」の受理・伝達
③九地整災対本部「道路室」の初動対応
○防災体制の発令、地震時(震度4以上)の道路局宛て「巡回開始」報告、大雨・降積雪・地震・津波・噴火時の「道路カメラ確認」のメール共有など



4. 対象道路・・・

- 1) 直轄管理道路 (総延長 約2,405km)
 - ・ **[高規格道路] 約394km**
→ **管制路線 約374km** ※北側復旧道路を含む
 - ・ **[一般国道] 約2,011km**
- 2) 自治体管理道路 (総延長 約16万km)
※福北公社・NEXCOを除く

5. 運営・・・**365日24時間体制**

「管制員(1名)」と「委託(5名程度)」は
2交替で勤務 (9:00・21:00交替)

6. 人員・・・1) **職員7名** (管制官1名・管制員5名・
期間業務職員1名)
- 2) **委託約30名** (1班6名程度×4班、
管理技術者等の支店技術者)
- 3) **JARTIC駐在2名** (平日昼間のみ)

<管制路線とは>

- 1) 国道事務所が警察・消防と覚書を締結し、「閉庁時」は道路管理センターが警察・消防と「協議・連絡調整」を実施する路線。
- 2) 管制路線は、事務所運用に基づき「道路情報板」及び「トンネル非常警報板」の操作を実施。
- 3) 対象は、高規格道路。

対象道路(管制路線)の状況 R6.3末時点



●令和5年度の道路緊急ダイヤル受付件数 30,158件
うち、直轄国道 9,572件(約32%)

●道路異常 トップ3(直轄国道)

- | | | |
|---|-------|-----|
| 1 | 動物の死骸 | 43% |
| 2 | 落下物 | 29% |
| 3 | 故障・停車 | 11% |

※重大事象は約3%

(交通事故1%、故障・停車0.8%、降雨・冠水0.3%等)

1. 九州地方整備局の道路管理
2. 近年の道路災害
3. 最近の道路管理に関する話題等

○ 九州地方は、有明海沿岸の軟弱地盤や北西部の地滑り地帯、南部にはシラスの特殊土壌が広く分布し、また火山や活断層が点在。



北松型(長崎県西部)の地すべり



熊本地震



熊本地震 布田川断層



雲仙岳

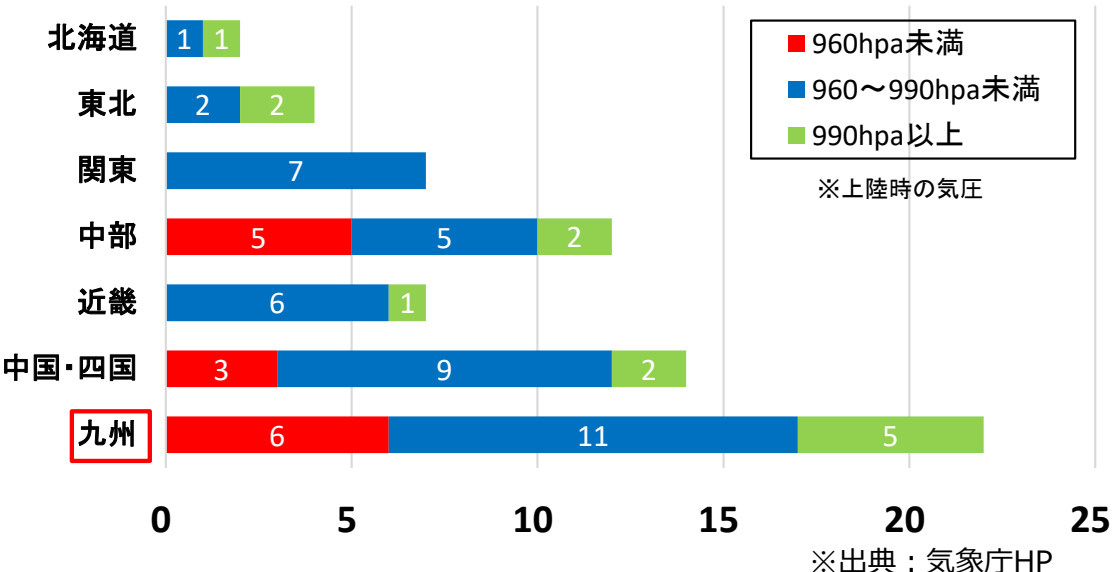


シラス台地の地すべり



宮崎層群の地すべり

■ 地域別台風上陸回数 (H13.01~R05.07)



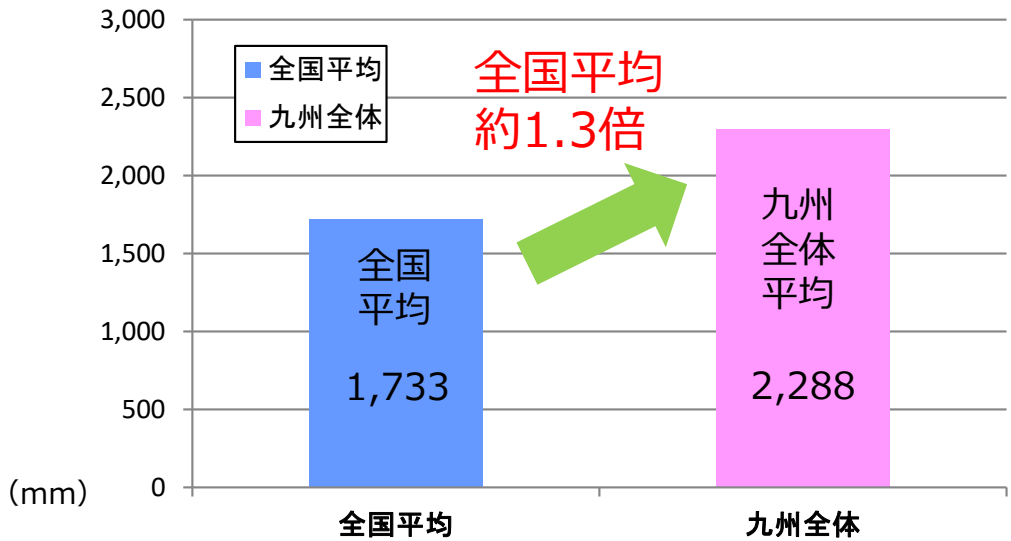
■ 活発な火山活動

噴火警戒レベル2以上の火山(令和6年11月14日現在)

- さくらじま
- 桜島 【レベル3(入山規制)】
- くちのえらぶじま
- 口之永良部島 【レベル2(火口周辺規制)】
- すわのせじま
- 諏訪之瀬島 【レベル2(火口周辺規制)】
- さつまいおうじま
- 薩摩硫黄島 【レベル2(火口周辺規制)】
- あさまやま
- 浅間山 【レベル2(火口周辺規制)】
- いわてやま
- 岩手山 【レベル2(火口周辺規制)】

※出典：気象庁HP
※参考 レベル5 (避難)
レベル4 (避難準備)
レベル3 (入山規制)
レベル2 (火口周辺規制)

■ 降水量 (年平均降水量)



※出典：令和4年版日本の水資源の現況 (1992~2021年の平均値)

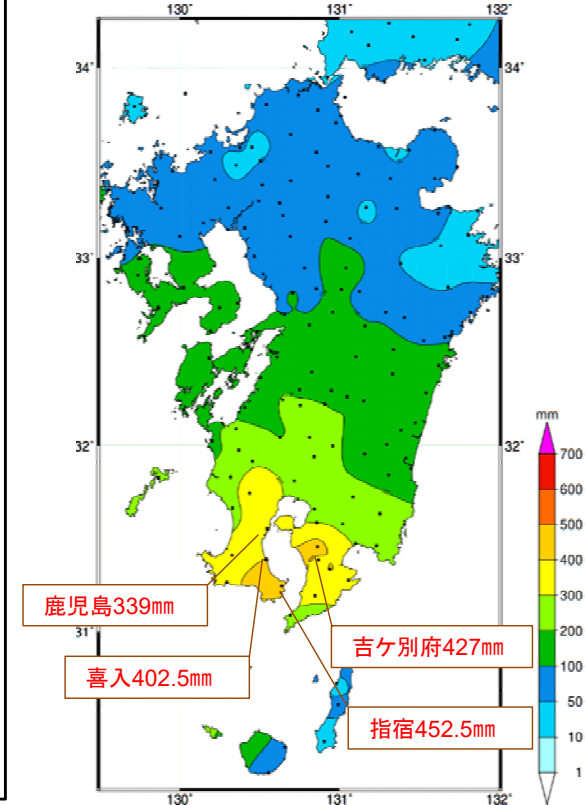


桜島 2011年7月10日 気象庁撮影

①6月20日からの大雨の概要

- 20日～21日にかけて、梅雨前線が九州付近に停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気が非常に不安定な状態となった。
- 21日未明より一時間最大降水量は、^{かのや}鹿屋で70.5mm、^{さ たみさき}佐多岬68.5mm、^{いぶすき}指宿67.5mmなど非常に激しい雨を観測。
- 21日午前5時には線状降水帯が^{さつま}薩摩・^{おおすみ}大隅地方に発生。
- 20～21日の積算降水量は^{いぶすき}指宿で452.5mm、^{きいれ}喜入で402.5mmとなるなど非常に激しい大雨となった。
- 大雨の影響により、複数個所での事前通行規制及び、^{か ご し ま}鹿児島市^{きいれ}喜入、^{にちなん}日南市^{みやうら}宮浦にて斜面崩壊による土砂流入が発生し、通行止めが発生。

積算降水量分布図(20日～21日)



実況天気図

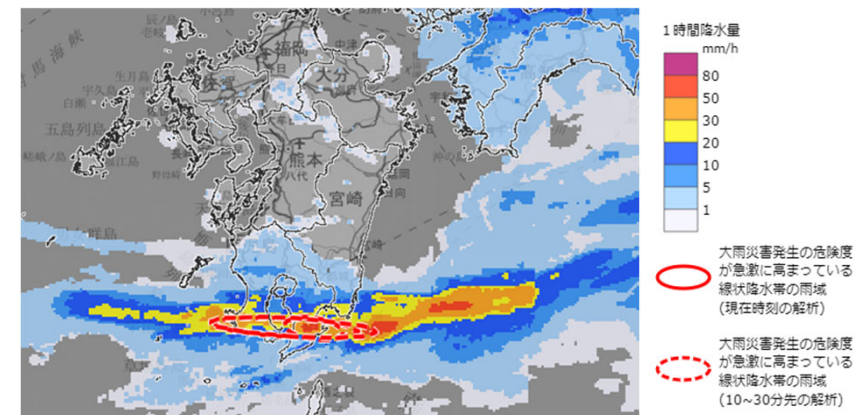


6月20日9時



6月21日9時

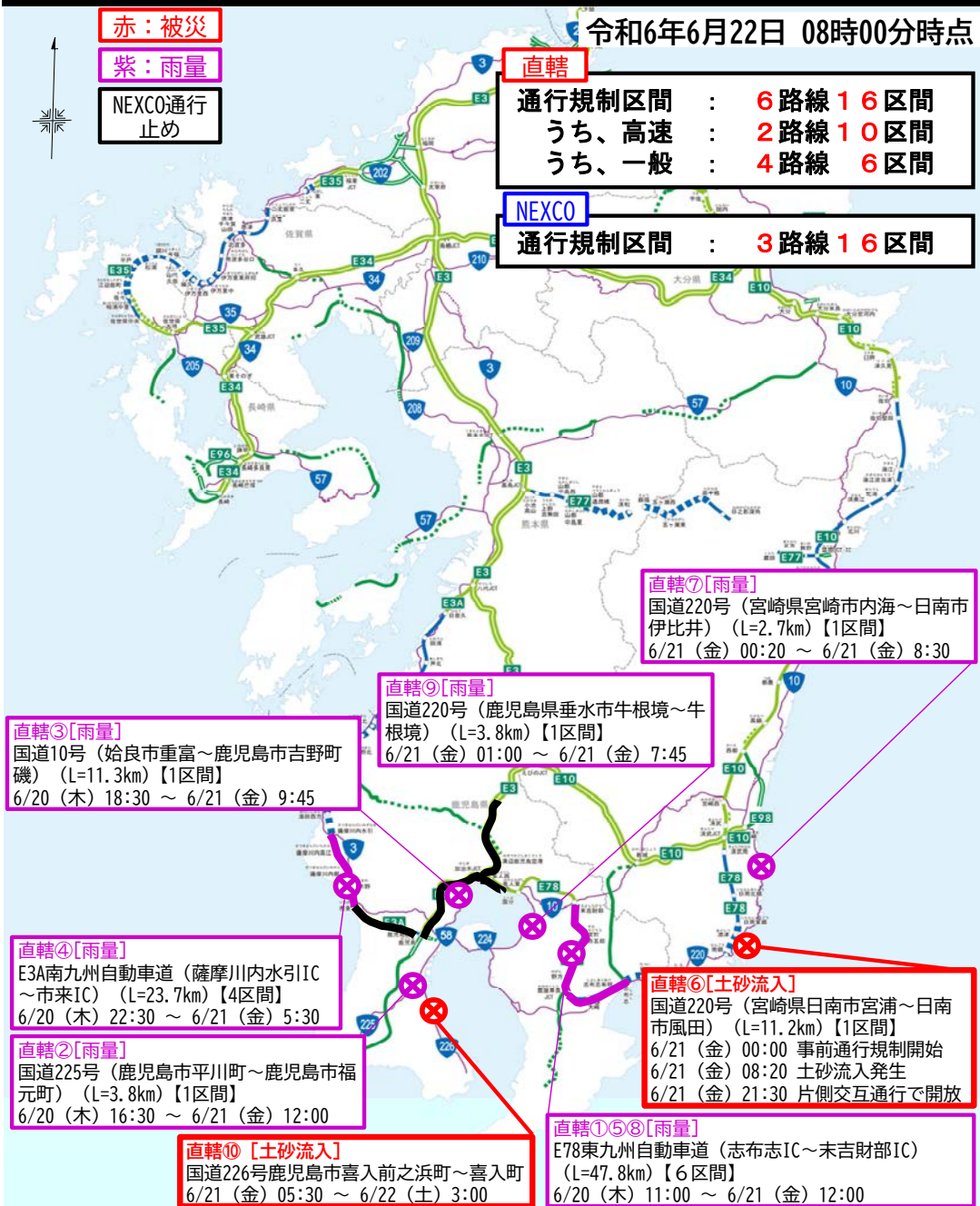
線状降水帯の発生



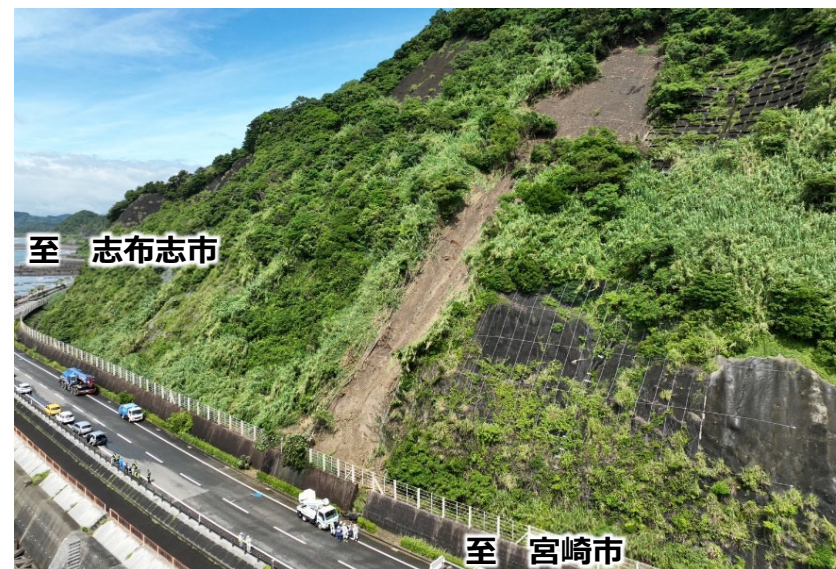
1時間降水量(21日5時20分まで)

① 高速道路及び直轄国道の全面通行止め

令和6年6月20日からの大雨（九州）直轄規制区間



直轄道路被災状況



R220 宮崎県日南市
6月21日（金）8:20頃被災



R226 鹿児島県鹿児島市
6月21日（金）5:30頃被災

6/21 5:30頃に鹿児島県鹿児島市喜入にて、斜面崩壊による土砂流入が発生。車両2台が巻き込まれる。人的被害はなし。6/21 5:30～6/22 3:00全面通行止め。

【時系列】

- 6/21 05:30 土砂流入発生 (物損車両2台) 規制開始
- 6/21 08:00 JR立会
- 6/21 10:30 応急復旧工事着手 (土砂撤去・大型土嚢201袋、側溝清掃等)
- 6/22 03:00 通行止め解除

降雨状況



応急復旧作業①



応急復旧作業②



被災状況①



被災状況②



現況



にちなん みやうら
6/21 8:20頃に宮崎県日南市宮浦にて、斜面崩壊による土砂流入が発生。被災箇所は同日0:00より事前通行規制を行っていたため、人的被害はなし。
6/21 0:00～6/21 21:30全面通行止め。

【時系列】

- 6/21 00:00 事前通行規制開始
- 6/21 08:20 土砂流入発生
- 6/21 12:00 応急復旧工事着手
(土砂撤去・大型土嚢150袋等)
- 6/22 21:30 片側交互通行にて開放

位置図



被災状況

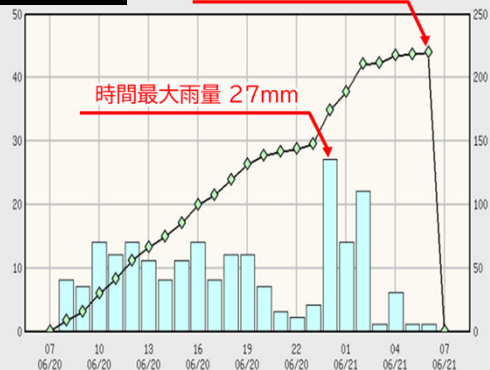


降雨状況

連続雨量 219mm

連続雨量 (mm)

時間最大雨量 27mm



応急復旧作業①



応急復旧作業②



応急復旧作業③

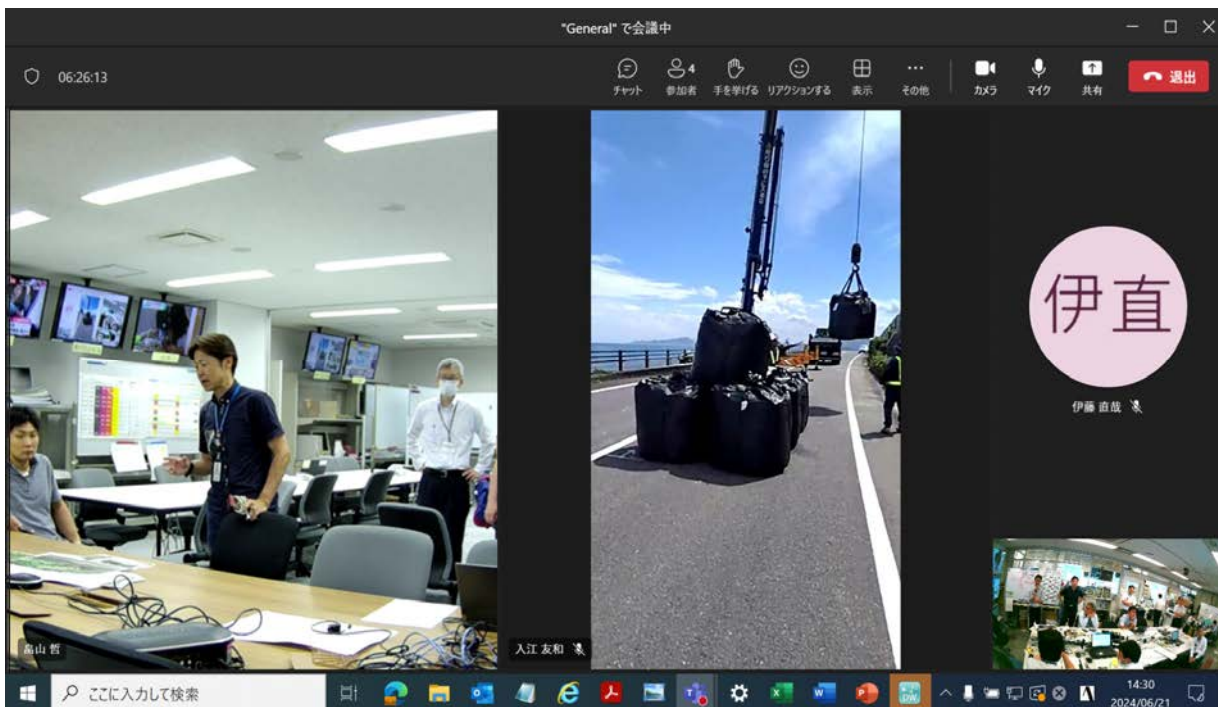


現況



① 事務所・道路部間の情報共有

- 被災した宮崎・鹿児島とをteamsで接続し、情報共有や、被災現場の映像共有などを随時実施。
- 事務所⇔道路部間でのやりとりを防災室内の全員が聞くことができ、速やかな情報共有を実現。



△ Teams画面



△ Teams打合せの状況



△ Teams打合せの状況

【振り返り】

○図面や写真などを共有しながら打合せすることで、状況の説明などが速やかに実施できた。

▲鹿児島と主に接続しており、宮崎との情報共有が鹿児島に比べておろそかとなった。
→被災のあった事務所と常時接続

▲teamsでの打合せで確定した事象を文字形式で残しておらず、引継ぎの際、情報伝達に不備が生じた。

→ホワイトボードなどを活用し、確実な情報伝達を実施

- 鹿児島市喜入の被災では、国道226号に並行するJR指宿枕崎線も被災。
- 被災後速やかにJRと現地立会を行い、早期解放に向け、連携して土砂撤去を実施。



【連携事項】

- ・テックドクターの現地調査を鹿国とJRと合同で実施し、国道、JRに対して対策の助言を受ける
- ・JR上の崩落部分の地権者調査を鹿国にて、鹿児島市と協力して実施（調査結果はJRに提供）
- ・崩落頂部の地権者2名に、鹿国が果樹木(数十本)の伐採とブルーシート養生について了解を得る
- ・鹿国で、頂部の対策実施(伐採した果樹木の補償は今後鹿国で実施)
- ・線路部の土砂撤去はJRが実施するが、JRの復旧を支援するためJR下の国道側に落とし、その土砂は国道側で他の土砂と一緒に撤去することで調整

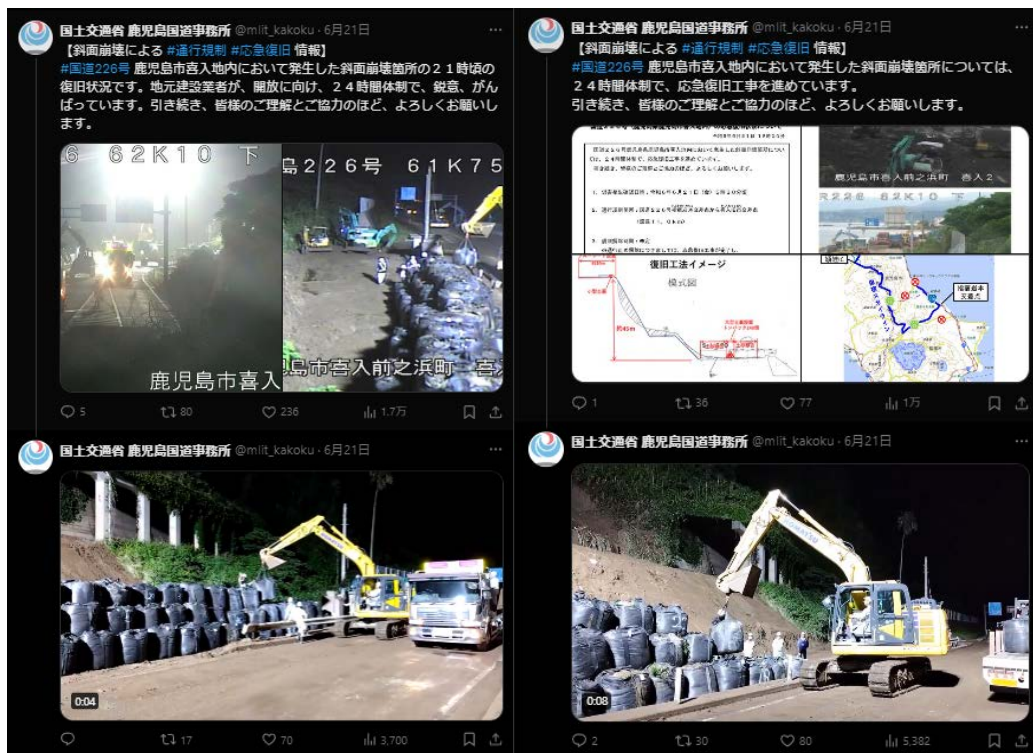
後日、JR九州工務部工事課長より連携についてお礼

① 記者発表、SNSの活用

○通行規制の記者発表以外に、被災状況や応急復旧作業の状況について記者発表を行い、道路利用者への情報提供を実施。

【時系列（鹿児島市喜入）】（宮崎も同様に実施）

- 6/21 5:30 土砂流入発生（物損車両2台）・規制開始
- 6/21 6:15 記者発表（迂回路情報）
- 6/21 7:40 記者発表（被災状況について）※資料①**
- 6/21 10:30 応急復旧工事着手
- 6/21 11:30 記者発表（応急復旧工事着手について）※資料②**
- 6/21 12:40 記者発表（迂回路情報）
- 6/21 14:30 記者発表（迂回路情報）
- 6/22 2:00 記者発表（通行止め解除について）
- 6/22 3:00 通行止め解除



△Xには写真や動画を随時投稿

資料①

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表資料
(第11報)

国道226号（鹿児島県鹿児島市喜入地内）の被害状況について
令和6年6月21日 7時40分

【全面通行止め規制について】
国道226号鹿児島県鹿児島市喜入地内において発生した斜面崩壊箇所の被害状況についてお知らせします。なお、復旧方法については検討中です。また、全面通行止めは引き続き継続中です。

1. 災害発生確認日時：令和6年6月21日（金）5時30分頃
2. 通行規制箇所：国道226号指宿岩本交差点から喜入旧市交差点（延長11.0km）
3. 交通規制内容：全面通行止め
4. 人身・物損被害：人身なし、物損車両2台
5. 災害規模：延長≒約30m、高さ≒約20m、崩壊土量V≒約500m³
6. 規制解除時間：未定
※通行止め解除につきましては、現地の安全が確認され次第お知らせします。

問い合わせ先
国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所
技術副所長 坂元 肇次
品質確保課長 小畑 洋一郎
TEL：099-216-3111（代表）

別紙

斜面崩壊 位置図

現地写真 6月21日 6:30
鹿児島226号 61K75 下

鹿児島市喜入前之浜町 喜入2

資料②

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表資料
(第13報)

国道226号（鹿児島県鹿児島市喜入地内）の応急復旧工事着手について
令和6年6月21日 11時30分

国道226号鹿児島県鹿児島市喜入地内において発生した斜面崩壊箇所の被害状況について緊急災害対策推進ドクター（TED-DOCTOR）の診断結果及びドローン調査を踏まえ、応急復旧工事（土砂撤去）に10時30分に着手し作業中です。

1. 災害発生確認日時：令和6年6月21日（金）5時30分頃
2. 通行規制箇所：国道226号指宿岩本交差点から喜入旧市交差点（延長11.0km）
3. 交通規制内容：全面通行止め
4. 人身・物損被害：人身なし、物損車両2台
5. 災害規模：延長≒約30m、高さ≒約20m、崩壊土量V≒約500m³
6. 規制解除時間：未定
※通行止め解除につきましては、応急復旧工事が完了し、現地の安全が確認され次第お知らせします。

問い合わせ先
国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所
技術副所長 坂元 肇次
品質確保課長 小畑 洋一郎
TEL：099-216-3111（代表）

応急復旧作業状況 11:00時点

②8月26日～31日にかけての台風10号による大雨の概要

○台風10号は8月29日8時頃に強い勢力で鹿児島県薩摩川内市付近に上陸、台風本体や台風周辺の雨雲の影響で、九州山地の東側を中心に台風接近前から雷を伴った大雨となった。

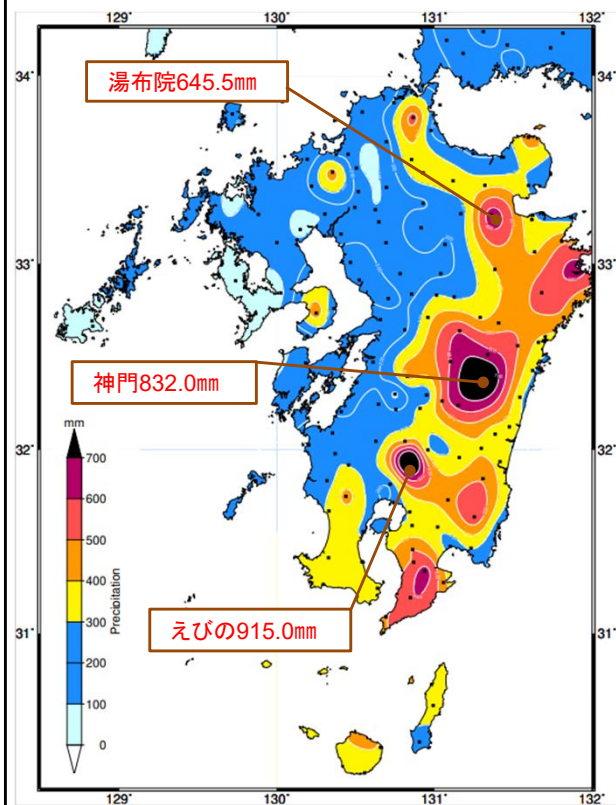
○29日未明から明け方にかけて宮崎県北部平野部・北部山沿い、鹿児島県薩摩地方、大分県中部・北部で線状降水帯が発生した。

○29日の一時間最大降水量は、宮崎県神門で94.0mm、西米良で82.0mmの猛烈な雨を観測した。

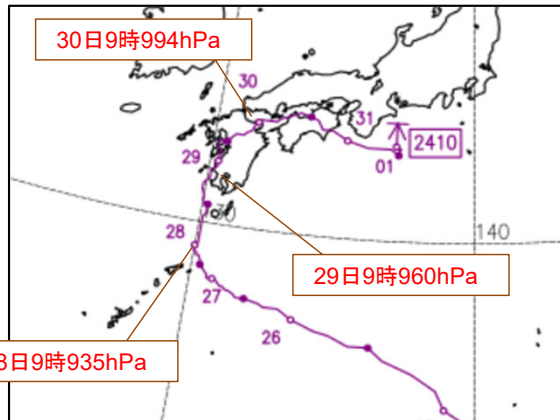
○26～31日の積算降水量はえびので915.0mm、^{みかど}神門で832.0mm、^{ゆふいん}湯布院で645.5mmとなるなど記録的な大雨となった。

○大雨、暴風、倒木、越波、路面冠水の影響により、管内の直轄規制区間でも多数の通行止めが発生した。

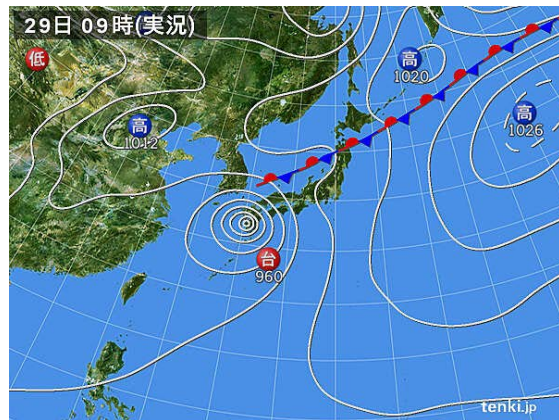
積算降水量分布図(26日～31日)



台風10号経路図

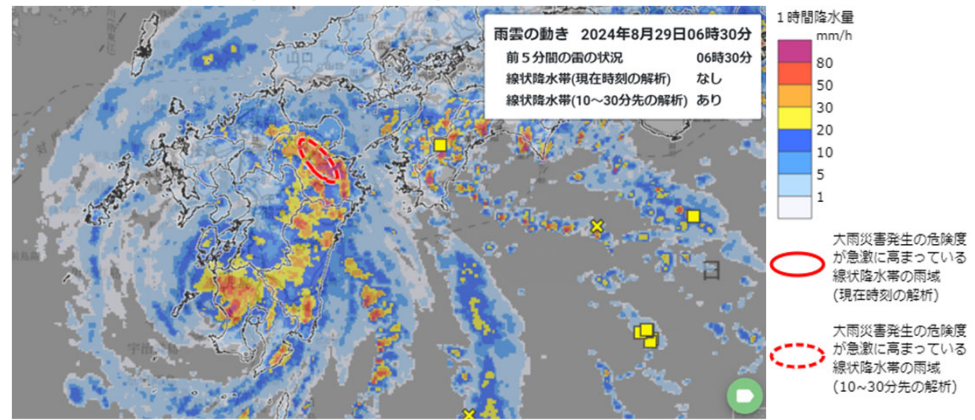


実況天気図



8月29日9時

線状降水帯の発生



1時間降水量(29日06時30分まで)

令和6年8月の台風第10号に対し、重要なインフラである電力・通信について、停電、通信障害等が発生した際に速やかな復旧を行うため、経済産業省九州産業保安監督部、総務省九州総合通信局防災対策推進室・情報通信部、九州地方整備局道路部で構成される「災害時における電力・通信の復旧に向けた九州地区連絡調整会議」を設置し、被災箇所の共有や復旧に向けての情報共有・調整を実施。

【開催状況】

- 第1回 令和6年8月26日(月)
台風に備え、協議会の設立、情報共有
- 第2回 令和6年8月28日(水)
台風接近に伴う現状の被災状況等の共有
- 第3回 令和6年8月29日(木)
台風通過後の対応に関する情報共有
- 第4回 令和6年8月30日(金)
復旧に向けた侵入困難箇所の情報共有

令和6年8月 災害時における電力・通信の復旧に向けた九州地区連絡調整会議

【情報共有・調整事項】

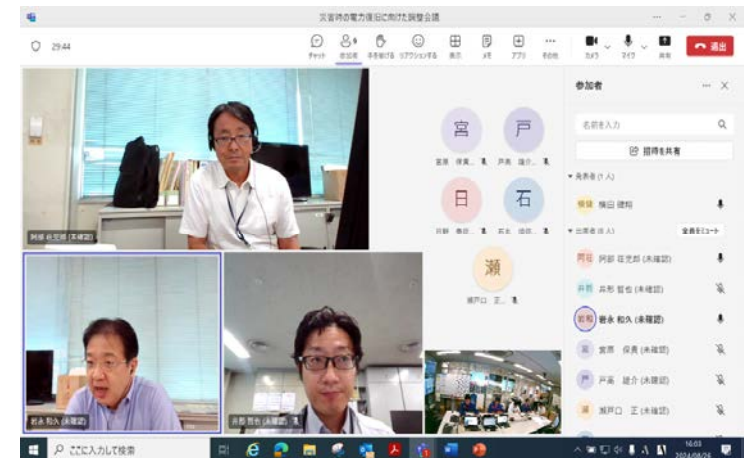
- 気象予測の共有
- 道路に関する被害状況
- 道路に関する通行止め予測情報
- 電力に関する被害状況
- 通信に関する被害状況

【構成機関】

- 経済産業省 九州産業保安監督部
- 総務省 九州総合通信局 防災対策室
- 総務省 九州総合通信局 情報通信部
- 国土交通省 九州地方整備局 道路部
- 九州電力送配電(株)

【今後の予定】

- 電力・通信供給の支障解消に長時間を要する箇所の共有
- 道路の通行止め箇所の共有
- 電力・通信の復旧や道路啓開の状況の共有



■連絡調整会議の状況

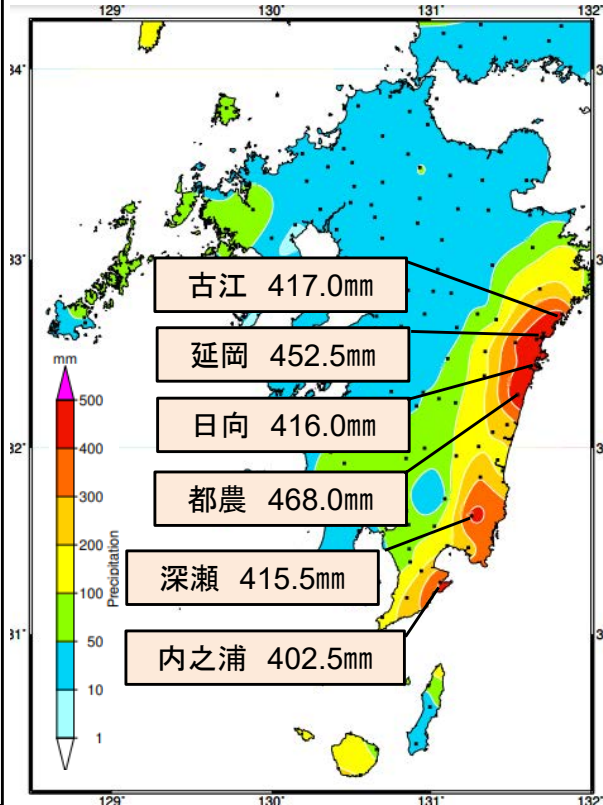
③10月21日～22日の大雨の概要

○21日～22日は南から流れ込む暖かく湿った空気の影響で、宮崎県平野部、大隅半島、大分県南部に発達した雨雲がかかり続け、記録的な大雨になった。一時間最大降水量は、古江で114.0mm（22日22:23）、都農で88.0mm（22日17:26）、内之浦94.0mm（21日14:27）の猛烈な雨を観測。21日1時～23日9時かけての積算雨量は、宮崎県都農468.0mm、延岡452.5mmなどを観測した。

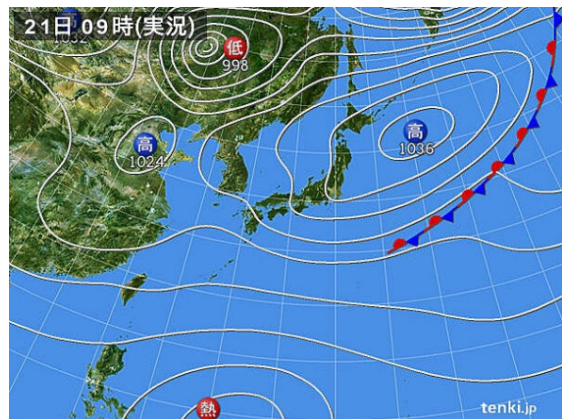
○22日は昼頃から発達した雨雲が宮崎県に停滞。22日15時07分には線状降水帯が宮崎県に発生した。21日から22日にかけては鹿児島県、宮崎県、大分県に記録的短時間大雨情報が発表された。

○大雨の影響により、国道220号（串間市奈留）にて斜面崩壊による土砂流入が発生し、通行止めが発生。

21日～23日9時 積算雨量



実況天気図

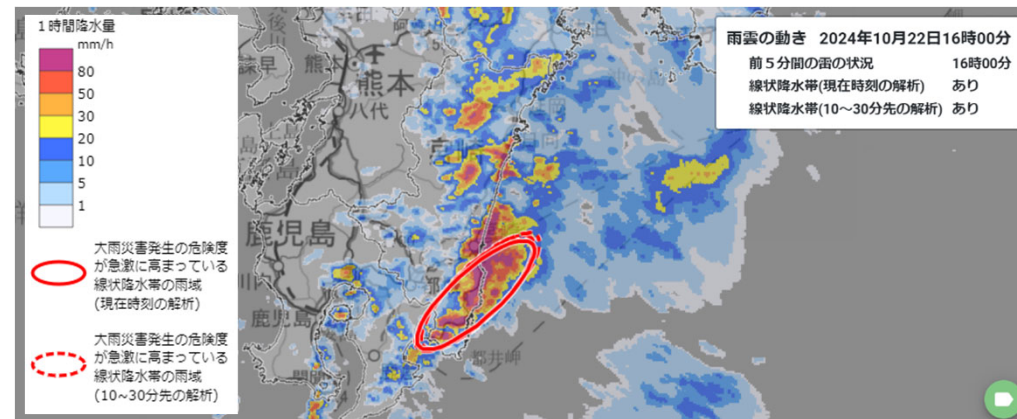


10月21日9時



10月22日9時

線状降水帯の発生

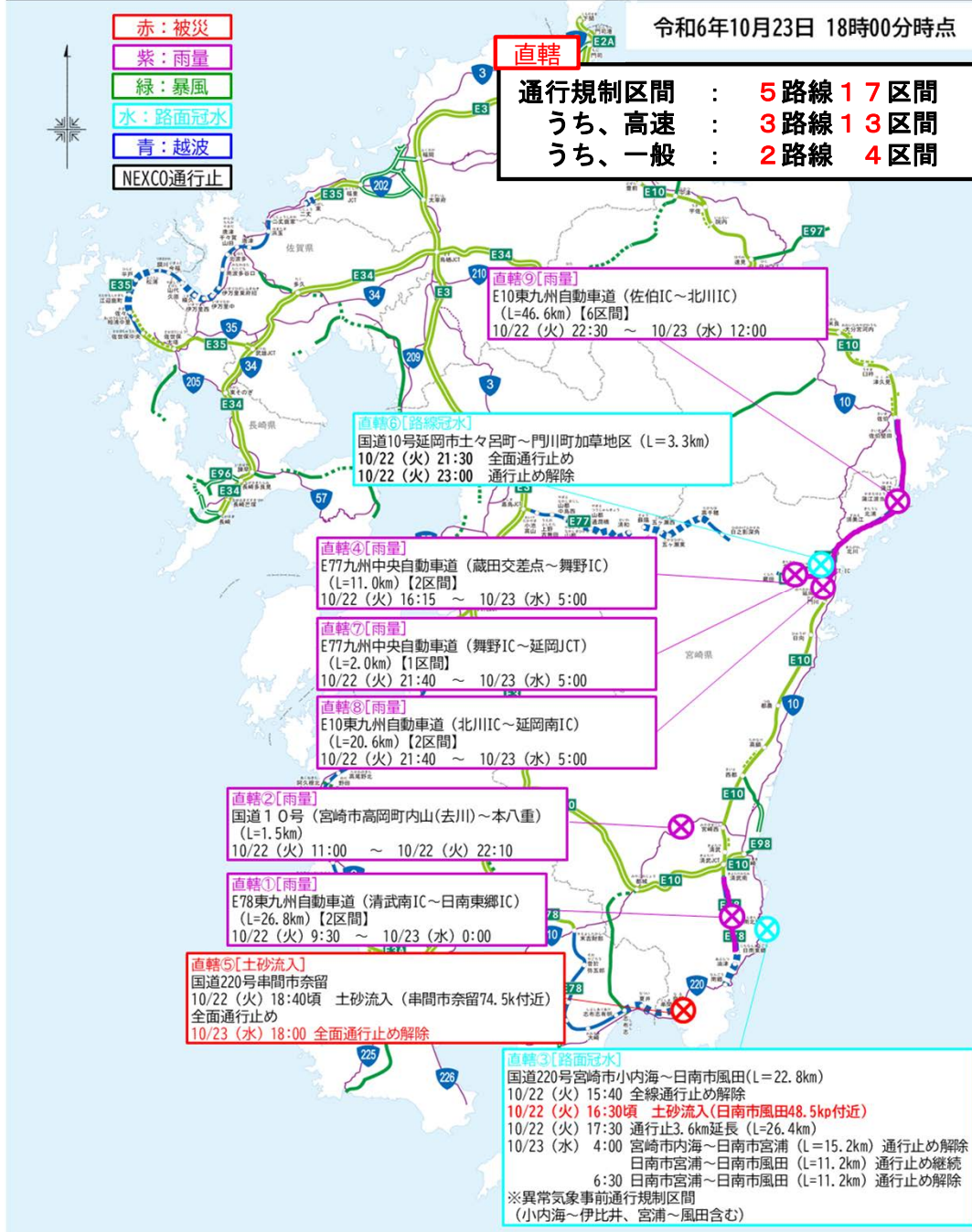


1時間降水量(22日16時00分まで)

③直轄国道の全面通行止め

令和6年10月21日からの大雨（九州）直轄規制区間

令和6年10月23日 18時00分時点



直轄道路被災状況



至 志布志市

JR日南線

至 宮崎市

R220 串間市奈留
10月22日（火）18:40頃被災



至 大分市

至 宮崎市

E10東九州道 宮崎県延岡市
10月23日（水）7:00頃被災確認

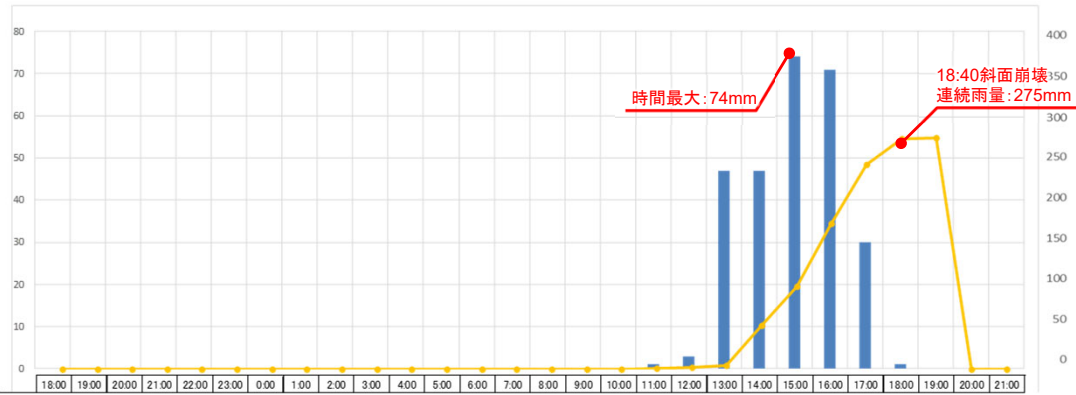
③ 10月21日からの大雨による被災(国道220号 串間市奈留)

10/22 18:40頃に宮崎県串間市奈留にて、斜面崩壊による土砂流入が発生。人的被害はなし。10/22 18:40～10/23 18:00全面通行止め。

【時系列】

- 10/22 18:40 土砂流入発生 規制開始
- 10/22 21:00 応急復旧工事着手
(土砂撤去・大型土嚢165袋等)
- 10/23 1:00 JR打合せ
- 10/23 18:00 通行止め解除

降雨状況



位置図



被災状況



現況



応急復旧作業①



応急復旧作業②

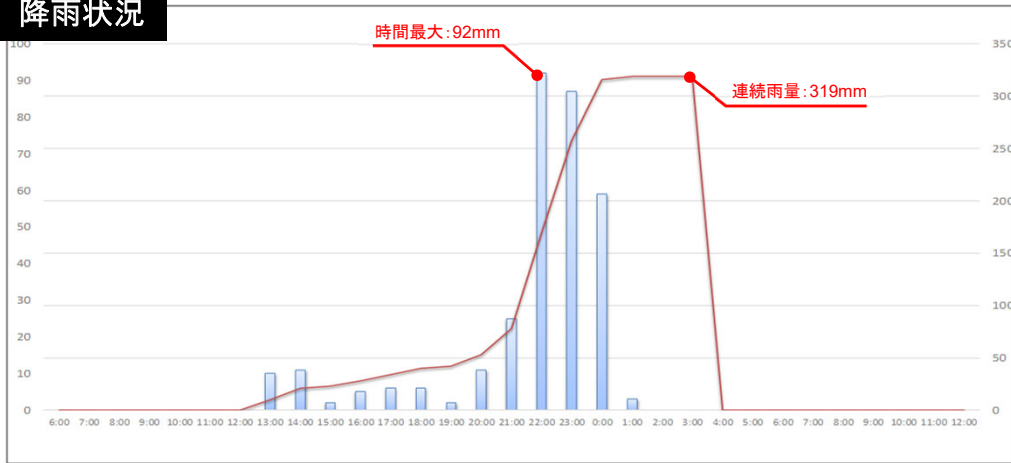


くまのえ きたうら
 10/23 7:00頃に宮崎県延岡市熊野江の北浦トンネル終
 点側坑口にて、土砂流入を発見。被災箇所は前日22:30
 より事前通行規制を行っていたため、人的被害はなし。
 10/22 22:30～10/23 12:00全面通行止め。

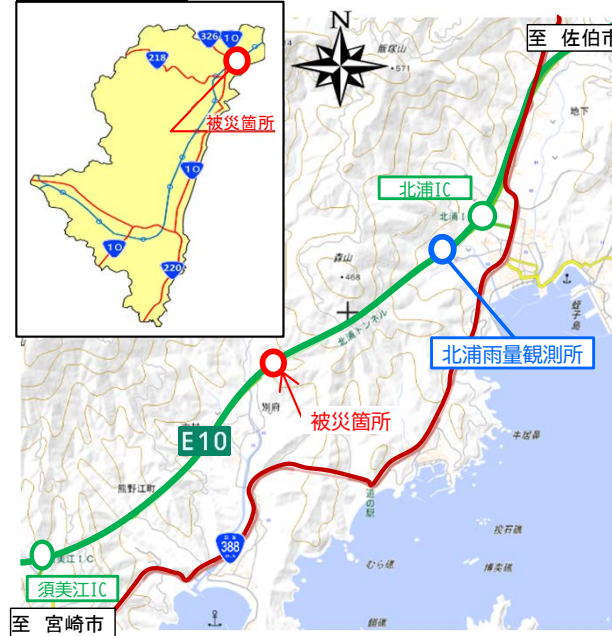
【時系列】

- 10/22 22:30 事前通行規制開始
- 10/23 07:00 土砂流入発見
- 10/23 12:00 規制解除

降雨状況



位置図



被災状況①



現況



被災状況②



応急復旧作業



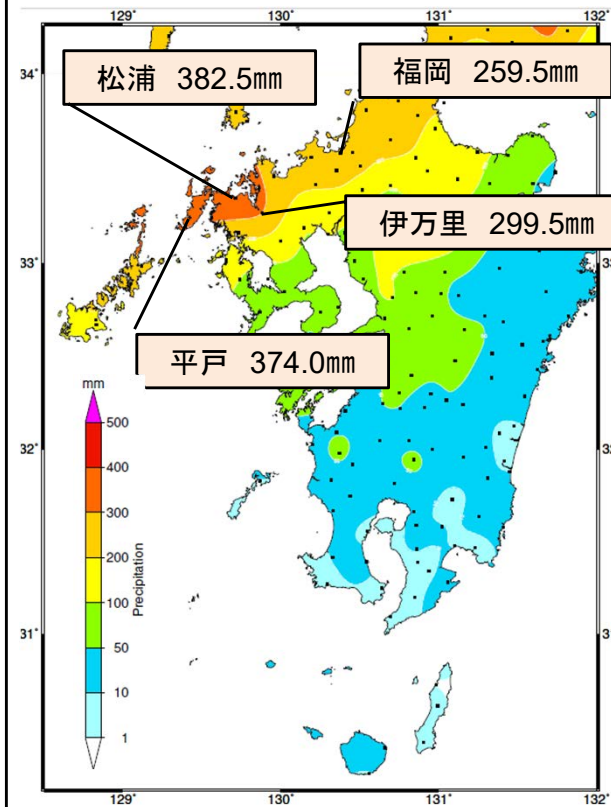
④ 11月1日～2日の大雨の概要

○1日～2日は台風21号から変わった温帯低気圧が東シナ海から九州付近を東進、九州は北部沿岸を中心に大雨となった。一時間最大降水量は長崎県佐世保^{させぼ}で64.5mm（1日22:35）、長崎県松浦^{まつうら}で62.5mm（2日02:18）、佐賀県伊万里^{いまり}で58.5mm（1日22:37）の非常に激しいを観測。1日～2日の積算雨量は九州北部沿岸で広く200mm以上を観測し、長崎県松浦^{まつうら}382.5mm、平戸^{ひらど}374.0mmを観測した。

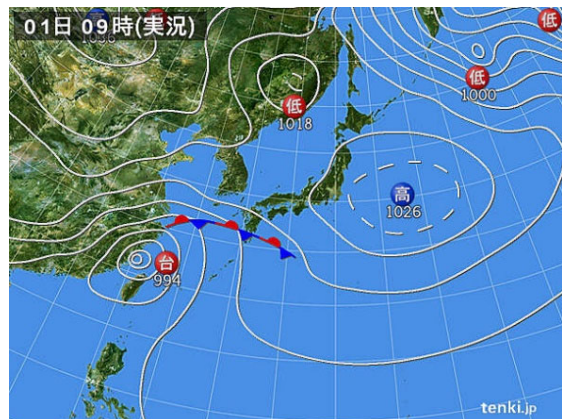
○低気圧、前線付近で雨雲が発達し、**2日1時17分に長崎県北部で線状降水帯が発生**した。また、2日1時33分には長崎県に記録的短時間大雨情報が発表された。

○大雨の影響により、西九州道および国道201号にて、通行規制が行われた。

11月1日～2日 積算雨量



実況天気図

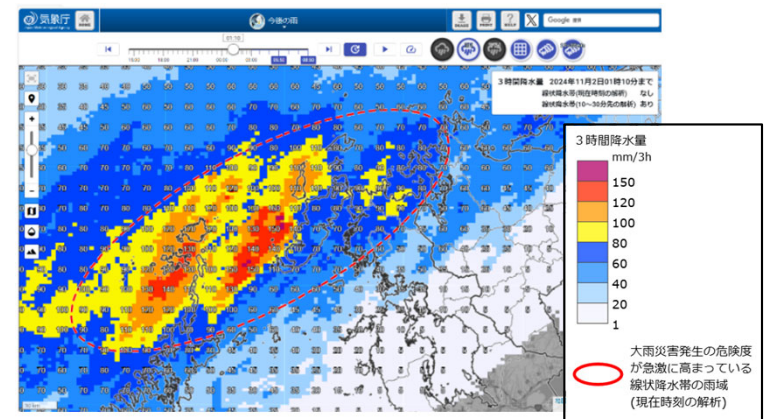


11月1日9時



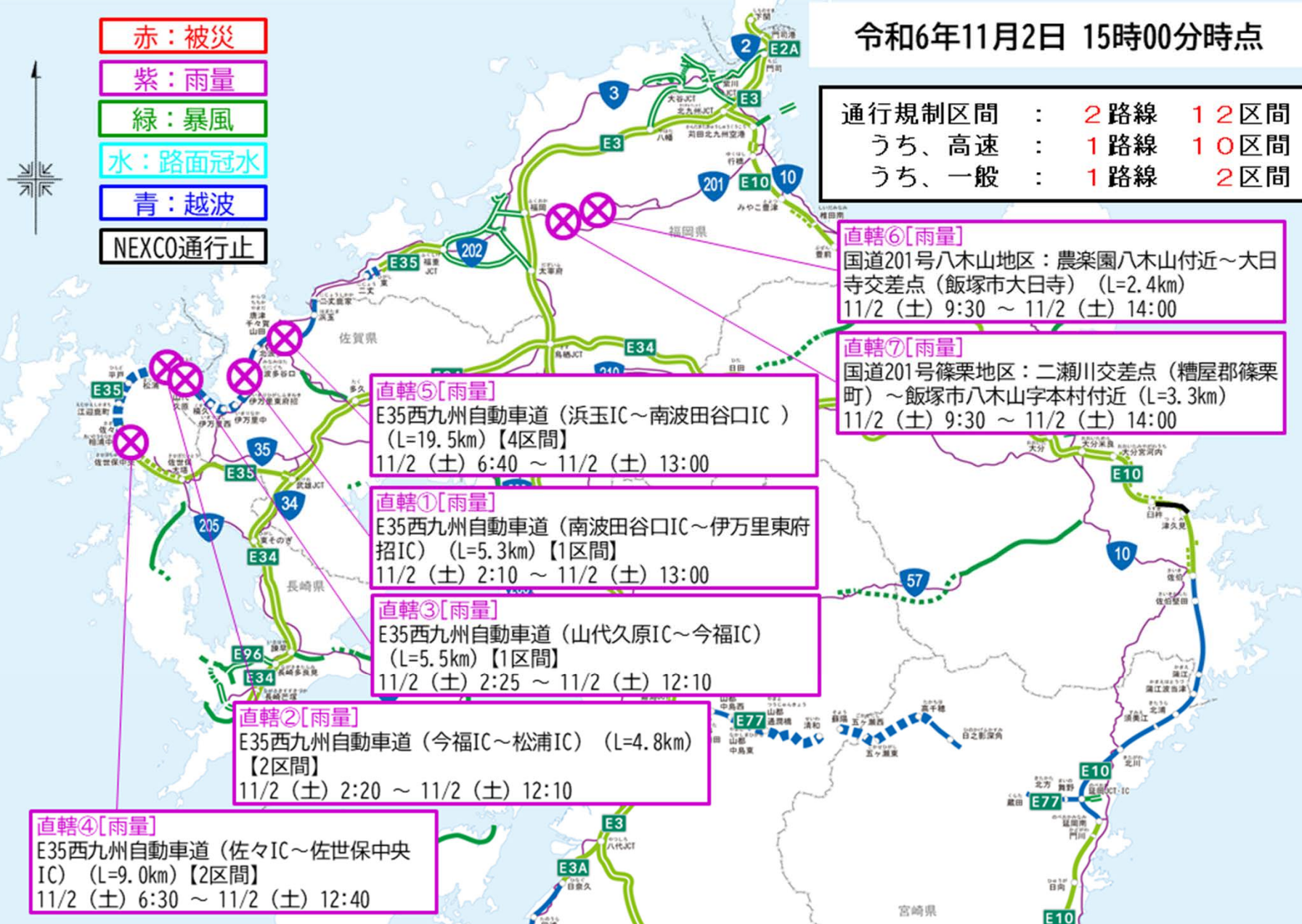
11月2日9時

線状降水帯の発生



3時間降水量(2日1時10分まで)

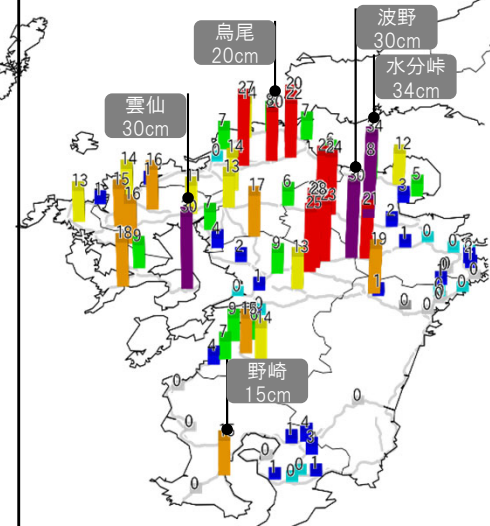
令和6年11月1日からの大雨（九州）直轄規制区間



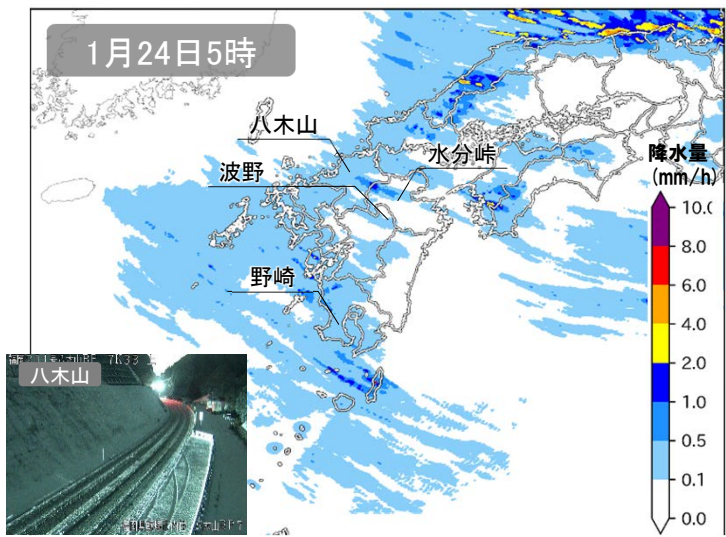
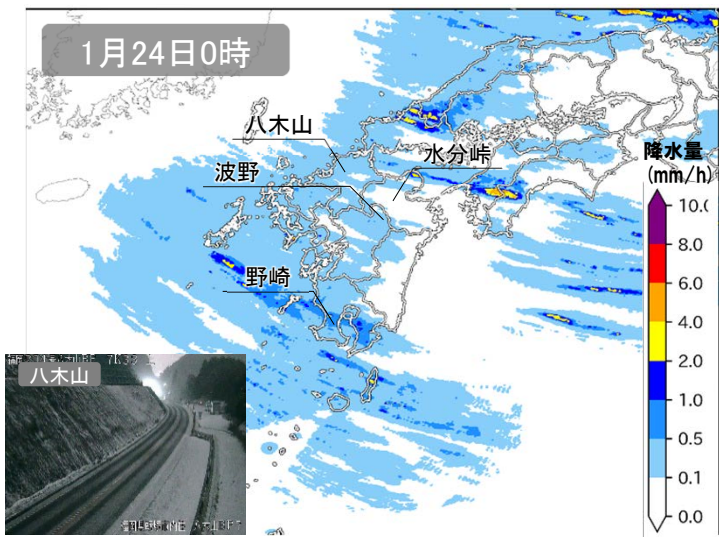
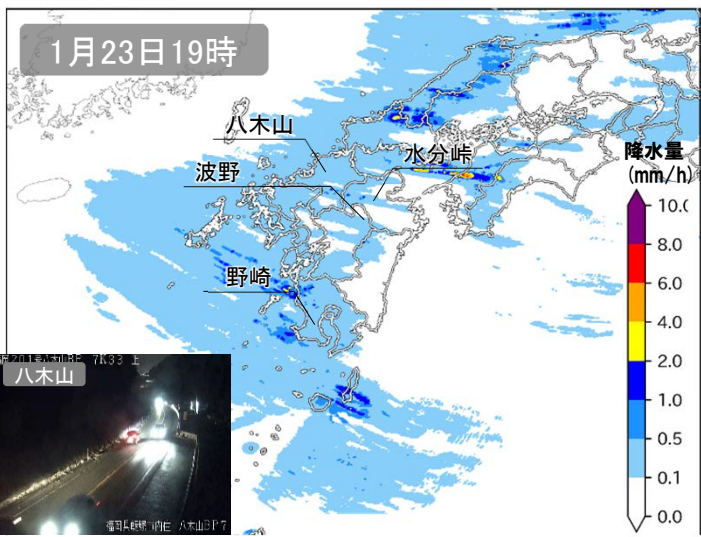
⑤R5年度 今季最強寒波(1/23~1/24)の概要

- 23日~24日にかけて、非常に強い冬型の気圧配置になり、福岡県の上空1500mには-11.7℃、鹿児島には-7.4℃の非常に強い寒気が流入。
- 23日~24日にかけて福岡、佐賀、長崎、大分県で**大雪警報**、その他のすべての県で**大雪注意報**発令。九州地方の広範囲で降雪を観測。九州北部の山地を中心に大雪となり、鹿児島県でも積雪。多いところで30cm前後※の降雪量を観測。
- 直轄国道では**6路線7箇所**で**通行止め**を実施。
- 高速道路は九州道、東九州道、大分道、長崎道、西九州道、長崎BP、日出BPで**通行止め**を実施。
- 県管理道路**では、31区間で降雪や路面凍結による**通行止め**を実施。

1月23日~24日の降雪量合計※



※気象庁解析雨量、毎時大気解析GPV、推計気象分布を基に独自AIにより算出

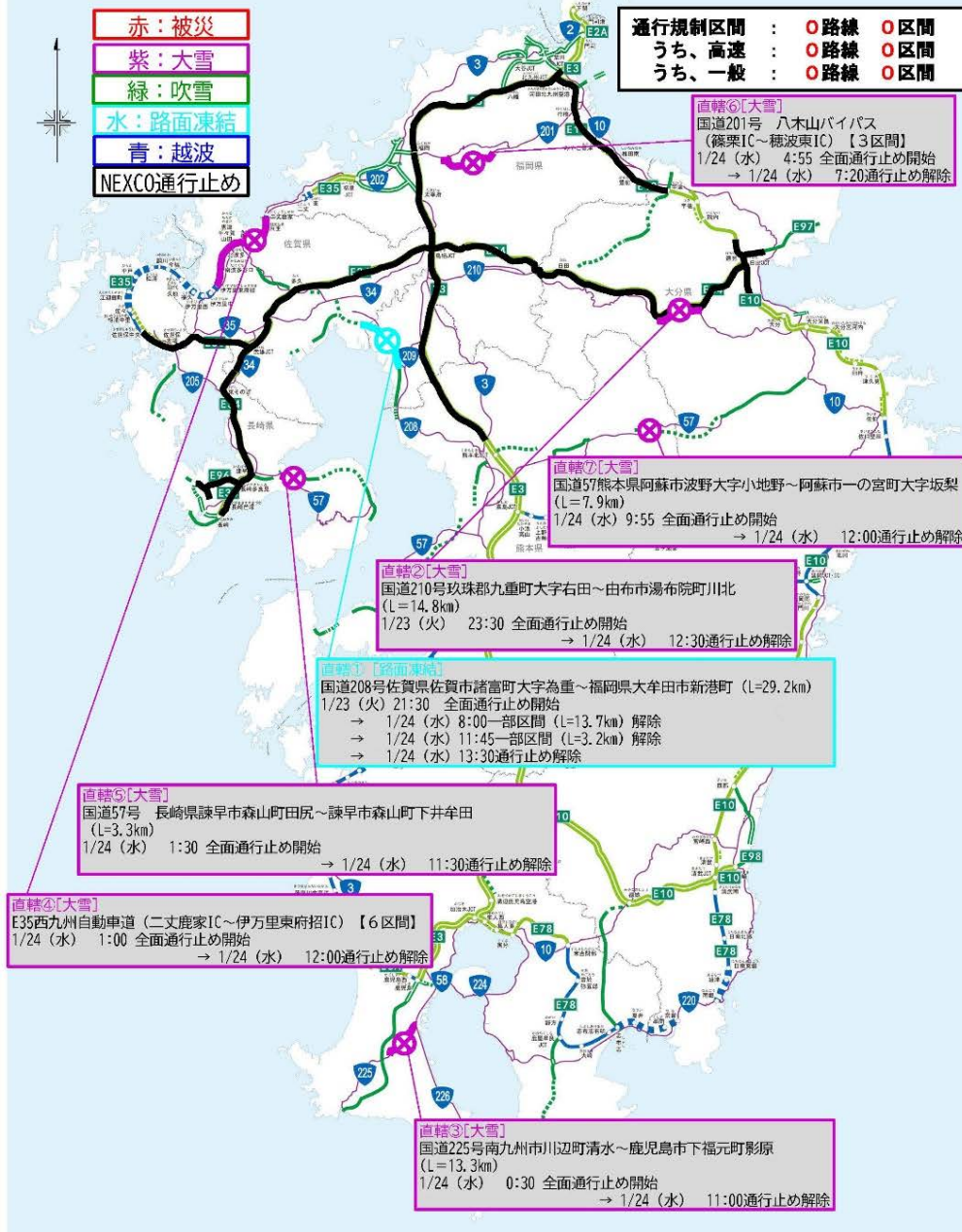


⑤ 高速道路及び直轄国道の通行止め

高速道路 黒色の区間を通行止め

直轄国道 大雪・路面凍結で6路線を通行止め

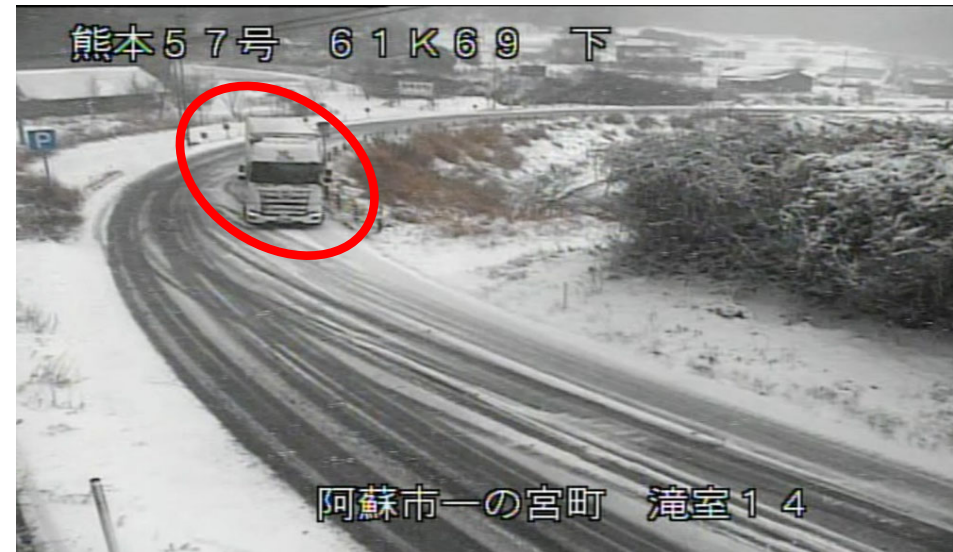
令和6年1月大雪(九州)直轄規制区間 令和6年1月24日 13時30分時点



通行止め直前の状況



国道201号八木山BP 福岡県飯塚市 1/24 4:30



国道57号滝室坂 熊本県阿蘇市 1/24 09:11

⑤直轄国道の降雪・渋滞状況(1/23~24)

車両滞留状況 (R10 行橋市辻垣)



1/24 06:31

降雪状況 (R208有明海沿岸道路 柳川市三橋町)



1/24 06:31

通行止め直前の状況 (西九州道 唐津市北波多町)



1/23 23:54

通行止め前の状況 (R210 由布市湯布院町)



1/23 23:10

⑤ 県管理道路の通行止め状況(1/23～24)

○補助国道 1 箇所、地方道 20 箇所で開催（1/25時点）

【補助国道】

- ・福岡県 1 箇所、佐賀県 3 箇所、長崎県 5 箇所、熊本県 2 箇所

【地方道】

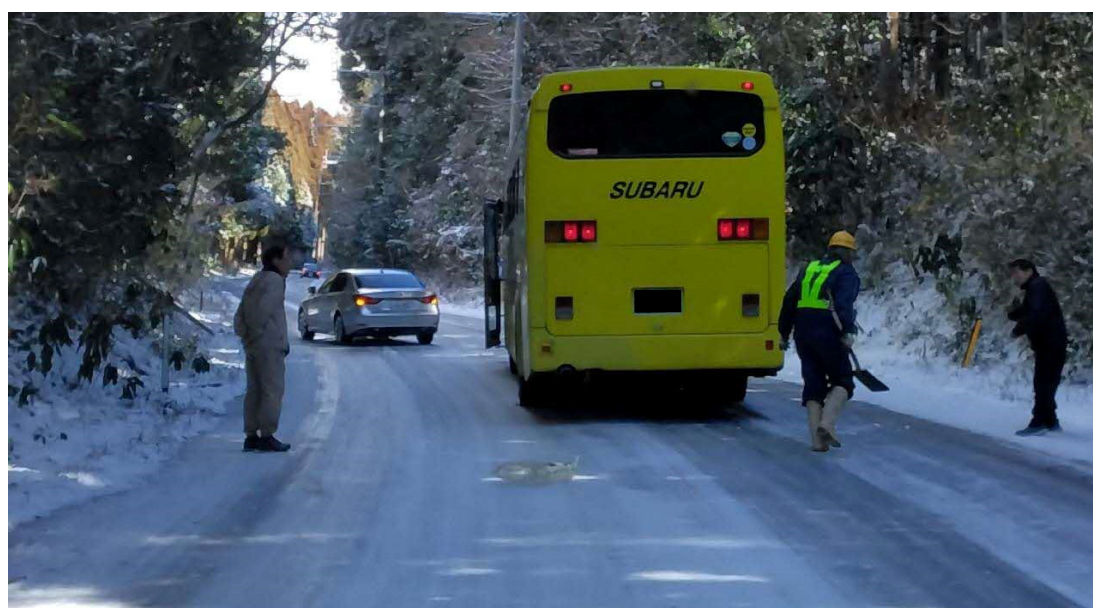
- ・福岡県 5 箇所、長崎県 8 箇所、熊本県 2 箇所、鹿児島県 5 箇所

一般県道 北外輪山大津線（熊本県菊池郡大津町）



通行止め：25日(木)13:30～

一般県道 北外輪山大津線（熊本県菊池郡大津町）



通行止め：25日(木)13:30～

記者発表（注意喚起・緊急発表）

令和6年1月23日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区気象台
NEXCO西日本九州支社

大雪による積雪・路面凍結に注意

- 九州地方では、この冬一番の強い寒気の影響で、1月23日昼過ぎから24日にかけて平地・山地ともに大雪となるおそれがあります。【別紙-1】
 - 雪による見通しの悪化、積雪・路面の凍結が発生するおそれがありますので、最新の気象情報及び道路交通情報をご確認ください。【別紙-2】
 - 大雪の場合は、テレワークの活用などを含め不要不急の外出を控えていただくとともに、やむを得ずお出かけをする際は、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底等をお願いします。
- ※過去の大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。運送において悪質な立ち往生が発生した場合には、監査等で事実関係を確認したうえで、適切な措置が不十分と判断されれば、行政処分の対象となります。
- 降雪や路面状況に応じて、高速道路や国道の通行止めを行う場合があります。

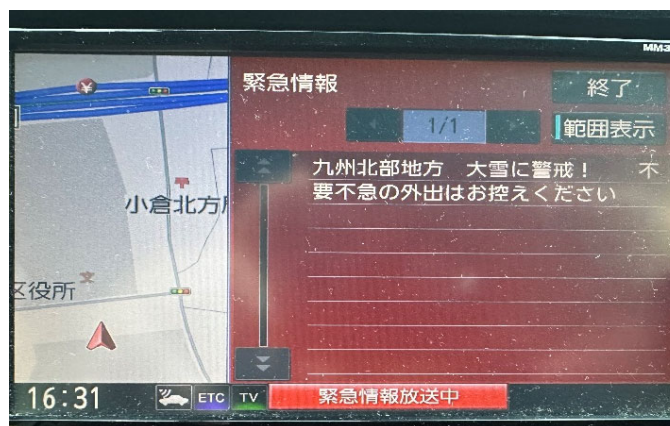
令和6年1月23日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区気象台
NEXCO西日本九州支社

大雪に関する緊急発表

～不要不急の外出はお控えください～

- 強い寒気の影響により、1月23日夜のはじめ頃から24日朝にかけて、九州北部地方を中心に警報級の大雪となる見込みです。平地においても10cm以上の降雪となるところがあります。立ち往生等が発生する危険性が高く、十分に警戒してください。【別紙-1】
- 最新の気象情報及び道路交通情報をご確認ください。【別紙-2】
- 高速道路や国道の通行止めを行う場合があります。直轄国道では、予防的通行規制区間【別紙-3】を中心に集中的・効率的に除雪を行うため、通行止めを実施する場合があります。
- 積雪の状況によっては、高速道路及び並行する国道を同時に通行止めする場合があります。
- 不要不急の外出を控えてください。やむを得ずお出かけをする際は、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底等をお願いします。ノーマルタイヤでの冬道走行は罰則対象となります。
- 過去の大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。運送事業者は、大雪時等輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、事業用自動車に冬用タイヤが装着されていることの確認等、安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。なお、雪道において悪質な立ち往生が発生した場合には、監査等で事実関係を確認したうえで、適切な措置が不十分と判断されれば、行政処分の対象となります。適切な運行管理を行うようお願いします。

カーナビ画面にポップアップ表示



【提供状況】

1月23日14:00～1月24日12:00まで
1時間毎に九州全県でポップアップ

道路情報板による情報提供



中国地整の記者発表に協力し、
北国管内で広域迂回を案内

SNSによる情報発信

国土交通省九州地方整備局 @mit_kyushu

強い寒気の影響により、1月23日夜のはじめ頃から24日朝にかけて九州北部地方を中心に警報級の大雪となる見込みです。大雪時においては、不要不急の外出はお控えください。詳しくは添付の資料をご覧ください。
#雪道情報 #雪みち情報 #冬用タイヤ #いのちとくらしをまもる防災減災

午後2:03 - 2024年1月23日 · 1.9万件の表示
108件のリポスト

近畿地方整備局 道路部 @mit_kinki_road

この冬一番強い寒気の流れ込むため、近畿地方では、1月23日から25日頃にかけて、大雪となる所がある見込みです。大雪時においては、不要不急の外出はお控えください。詳しくは添付の資料をご覧ください。

午後4:24 - 2024年1月22日 · 1.4万件の表示
56

記者発表を行った際には、Xに投稿し、広く周知するために他地整へリポストを依頼。併せて他地整の投稿については、九州でもリポスト。

⑤関係者間の情報共有(4者会議)

- 九州地方整備局、九州運輸局、福岡管区気象台、NEXCO西日本九州支社で構成する4者会議を随時開催(1/22、23)
- 今後の気象情報を共有し、現在の降雪状況を踏まえ、大雪に関する情報提供(注意喚起)や大雪に関する緊急発表を実施。
- 記者発表を行い、広く道路利用者に周知するとともに、事業者への注意喚起を実施。



4者会議の開催状況と共同発表

1/22(月)11:00開催 → 1/22(月)14:00 注意喚起の記者発表
 1/23(火)11:00開催 → 1/23(火)14:00 大雪に関する緊急発表

【情報共有・調整事項】

- 今後の気象情報の共有
- 各道路管理者の除雪状況の共有
- 通行規制に関する情報の共有
- 上記に係る関係者間の調整

【参加機関】

国土交通省九州地方整備局
 九州運輸局
 福岡管区気象台
 NEXCO西日本九州支社

【ふりかえり】

- 会議開催及び記者発表のタイミングは適切に実施できた。
- 記者発表直前に予想シナリオ変更により大雪の警戒期間が変わったため、記者発表資料の修正が必要となった。
- 実況で目安を超過した場合の対応について、事前に4者での調整が必要だった。

1. 九州地方整備局の道路管理
2. 近年の道路災害
3. 最近の道路管理に関する話題等

① 許認可審査における適切な補正指導

令和3年度、東北地整管内で地方自治体が占用申請をした下水道工事について、補正の継続により当該下水道の占用手続きに長期間を要し、結果として地方自治体による下水道工事契約を解除せざるを得なくなった事案が発生した。

地方自治体と工事業者間での工事契約解除の結果、地方自治体は工事業者へ損害賠償を行うことになった。

⇒補正指示を繰り返した道路管理者側においても反省すべき点ありとされた。

* 関連記事

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00142/01244/>

申請者の知識や申請能力を把握し、相手方に寄り添う形で補正指導を行うこと。

留意点

- 申請前には十分な事前相談の機会を設け、制度をよく理解させたうえで申請書類の作成を行わせるよう留意すること。
- 補正指導を通じて、申請者の能力を把握し丁寧な指導を行うこと。
- 窓口である出張所と事務所の連携を密にし、同様な事案の共有、審査の体制を充実させること。

補正期間は標準処理期間から除外されるものではあるが、指導結果が適正に反映されず、結果的に補正指導が繰り返されることで、審査において不測の期間を要することがないように注意。

審査自体の適正化もさることながら、審査期間が長期化した場合のリスクをヘッジするための仕組みとして、進捗管理表等の有効活用と情報共有化によって、長期化した事案を組織的に気づき、善後策を講じられるように対応。

②事前通行規制区間の雨量規制基準見直しについて

○大雨警報（土砂災害警戒情報含む）発令中は、連続雨量カウンタのリセットとなる「2mm以下・3h」ルールを「2mm以下・6h」に引き上げ。

○通行規制解除は、「①雨量ゼロリセット・②パトロールで安全を確認」の2項目クリアを条件とする。

ルール	大雨警報	
	未発表	発令中
連続雨量ゼロリセット	2mm以下3時間	2mm以下 <u>6時間</u> ^{※1}
通行規制解除	連続雨量ゼロリセット (2mm以下3時間)	連続雨量ゼロリセット ^{※1、2} (2mm以下 <u>6時間</u>)
	パトロール等で安全を確認 ^{※3}	パトロール等で安全を確認 ^{※3}

※1 大雨警報発令中、連続雨量ゼロリセット待ちの6時間内に大雨警報が解除された場合、その時点でゼロリセットルールを「2mm以下3時間」に変更
(大雨警報解除時に「2mm以下3時間」を超過していれば、パトで安全確認後、規制解除)

※2 2mm以下6時間の降雨予測の場合、通行規制解除基準「2mm以下3時間」は変更せず、その時点で連続雨量はゼロリセットとする

※3 パトロール等での安全確認とは、法面等からの流水(泥水)の現地状況やレーダー雨量による降雨予測等、予見を含めた災害リスクが無いことを確認すること

③九州道路啓開計画(九州東進作戦)の概要

～検討経緯～

- 南海トラフ地震における道路啓開について関係機関の連携・協力により、強力かつ着実に推進していくことを目的に『九州道路啓開等協議会』を平成27年10月に設置。
- 協議会は、各道路管理者(九州地方整備局、各県、各政令市、西日本高速道路(株)、福岡北九州高速道路公社)及び各関係機関(九州管区警察局、各県警、九州防衛局、陸上自衛隊西部方面総監部、九州電力(株)、NTT西日本(株)九州事業本部、(株)NTTドコモ九州支社、(一社)JAF九州本部、各県建設業協会)により構成。
- 平成27年10月の第1回協議会以降、3回の幹事会及び平成28年3月に第2回の協議会を開催し、平成28年3月25日に九州道路啓開計画を策定。

計画の概要

<計画の背景・目的>

- 九州では南海トラフ地震の発生により九州東側沿岸を中心に津波被災をはじめとする甚大な被害が危惧。

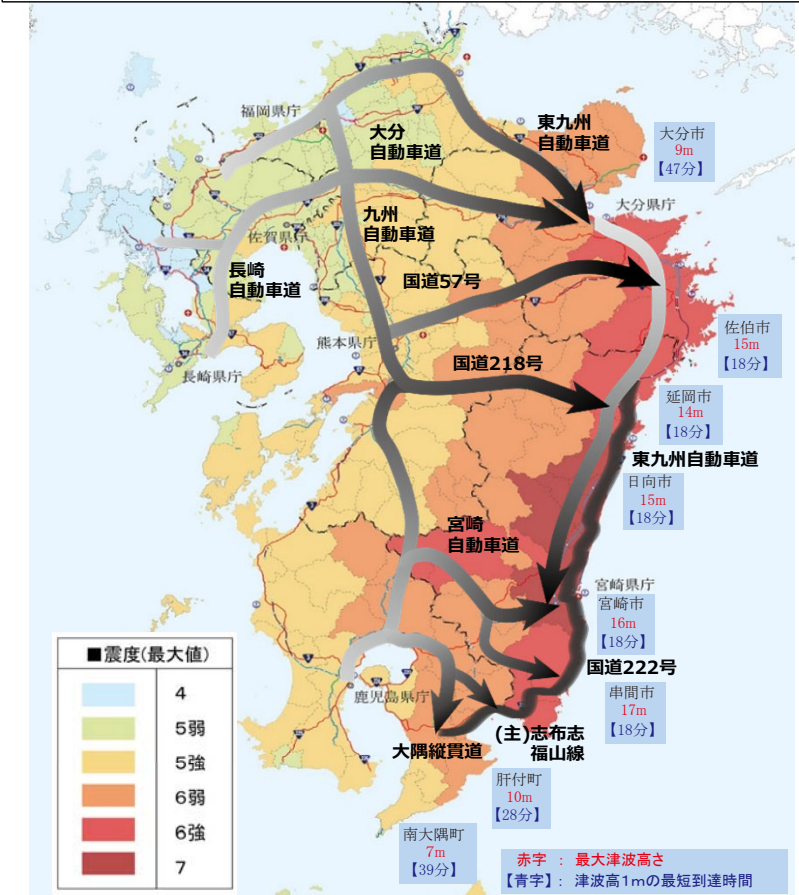
「九州道路啓開計画(初版)」

- 「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」に示された緊急輸送ルートについて、道路啓開調査(緊急点検)、道路啓開作業の実施者及びタイムライン、人員・資機材等の体制構築、被災情報の把握・情報集約等を定め、より実行可能な計画として策定。

<九州東進作戦>

- 南海トラフ地震発生の際、九州地方において震度6強以上の震度が観測された場合、又は大津波警報が発表された場合、全国及び九州各地からアクセスが可能となるよう、高速道路、国道、県道等を活用し、九州東側沿岸に向けて一斉に出動し、道路啓開を実施。
- 各道路管理者、関係機関が連携・協力のもと情報を共有し、緊急輸送ルートを緊急通行車両走行のため、最低1車線を確保することで、より短時間で啓開。
- 道路啓開がその後の消火活動や救命・救助活動、緊急物資の輸送等を支えることより、人命救助の72時間の壁を意識した具体計画に基づき、タイムラインに応じて、発災後、24時間以内に広域移動ルート、拠点接続ルートの概ねの道路啓開、72時間以内に被災地内ルートの概ねの道路啓開を完了することを目標。

九州東進作戦・南海トラフ巨大地震発生時の被害想定(揺れ・津波)



防災拠点

防災拠点	施設数
広域進出拠点	3箇所: 古賀SA(下り)他2箇所
進出拠点	9箇所: 霧島SA(下り)他8箇所
救助活動拠点	13箇所: 福岡空港 他12箇所
航空搬送拠点	9箇所: 福岡空港 他8箇所
広域物資輸送拠点	8箇所: 県産業展示場(グランメッセ熊本)他7箇所
海上輸送拠点	11箇所: 別府港 他10箇所
製油所・油槽所	20箇所: 東西オイルターミナル北九州油槽所 他19箇所
活動拠点	31箇所: 大分県(県庁及び市町村役場)、宮崎県(県庁及び市町村役場)、鹿児島県(市町村役場)

改定のポイント

■令和6年能登半島地震を踏まえた緊急提言の反映

- ①拠点機能の強化
 - ・防災拠点としての「道の駅」の機能強化
- ②データ活用による災害時交通マネジメントの高度化
 - ・ドローン活用など地形に合わせた機動的な情報収集体制の構築
- ③災害に備えた体制の強化
 - ・建設業者等の民間企業との連携
 - ・代替手段も備えた総合的な防災力の強化（自衛隊等との連携）
 - ・道路啓開計画などの事前準備と訓練等による実効性の向上

■南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画等の反映

- ①緊急輸送ルート、広域物資輸送拠点、航空搬送拠点等の見直しを反映
- ②最新の情報収集ツール（ISUT等）の反映
- ③災害対応の迅速化・効率化の取組を反映



九州道路啓開計画(第2版)の策定

④九州電力・九州電力送配電との相互協定

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和6年8月27日
九州地方整備局

九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社と災害時の相互協力に関する協定を締結しました

～災害発生時の早急な道路啓開作業及び停電復旧作業の円滑な実施～

九州地方整備局は、九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社（以下、「両社」と、「災害時の相互協力に関する協定書」を本日、締結いたしました。今回の協定締結により、災害発生時に両社との円滑な相互協力を行うことにより、迅速かつ効率的な道路啓開作業及び停電復旧作業等が可能となり、停電の更なる早期復旧に繋がります。九州地方整備局は、今後とも、両社との連携を一層深め、災害対応力の更なる向上に努めてまいります。

<協定の概要>

- 名称 九州地方整備局と九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社との災害時の相互協力に関する協定
- 目的 災害発生時の早急な道路啓開作業及び停電復旧作業の円滑な実施
- 締結者 国土交通省 九州地方整備局長 森田 康夫
九州電力株式会社 代表取締役社長執行役員 池辺 和弘
九州電力送配電株式会社 代表取締役社長 今村 弘
- 内容（詳しくは別紙をご覧ください）

(1) 災害時

- 九州地方整備局による九州電力・九州電力送配電への協力
 - ・停電復旧に必要な道路啓開
 - ・電力設備、がれき等の一体除去
 - ・通行止め区間内の車両の通行
 - ・復旧拠点となる道の駅等駐車場の使用
 - ・孤立地域の早期停電復旧にむけた支援
- 九州電力・九州電力送配電による九州地方整備局への協力
 - ・道路啓開のための速やかな技術員の派遣、電気的な安全措施等の実施
 - ・電柱及び電線等の電力設備の除去
 - ・電力設備、がれき等の一体除去
 - ・電力施設等の被害状況及び停電・復旧情報の提供

(2) 平常時

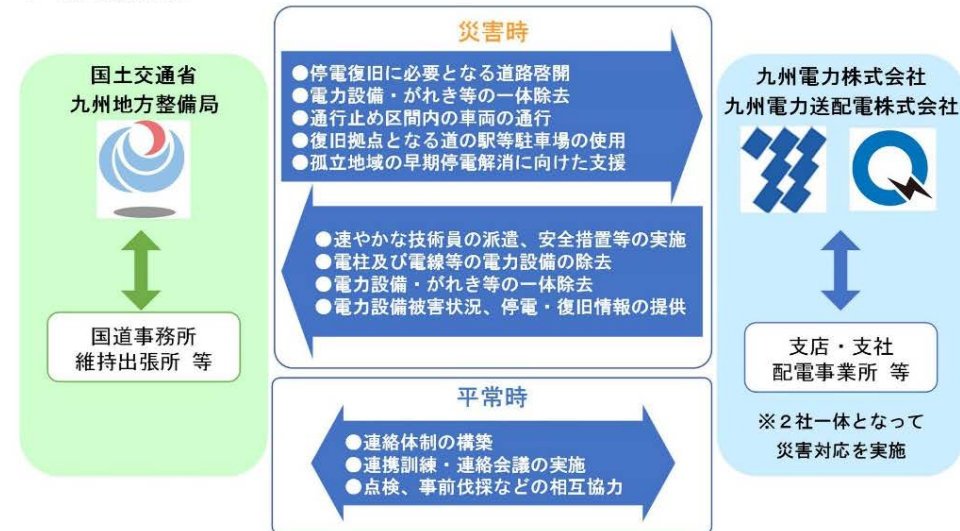
- ・連絡体制の構築、
 - ・連携訓練、連絡会議の実施
 - ・点検、事前伐採などの相互協力
- 以上

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 防災室 建設専門官 廣渡 学（内線 2156）
TEL(直通):092-476-3544 FAX:092-741-2516

災害時の相互協力に関する協定」の概要

◆ 相互協力内容



◆ 協定の範囲

九州地方整備局が管理する九州7県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）の国道（直轄国道）及び九州電力・九州電力送配電が管理する設備（電力設備）



ご清聴ありがとうございました
